

令和6年度

第2回壱岐市ケーブルテレビ放送番組審議会

日時 令和6年11月29日(金) 13:30～
場所 壱岐の島ホール 102会議室

(出席委員)

会長 横山 正 人 (九州地域情報化研究所・代表取締役)
副会長 横山 秀 敏 (壱岐市教育委員会・教育長職務代理者)
委員 牧本 行 秀 (壱岐人権擁護委員協議会・副会長)
福田 豊 治 (壱岐文化団体協議会・会長)
下條 紗 地 (壱岐育児サークル おひさま)
山川 友 子 (つばきポケット [壱岐市女性人材バンク])
高瀬 正 俊
久保田 恒 徳

(1) 指定管理者からの報告事項

指定管理者である光ネットワーク株式会社壱岐支店から放送番組の概要の説明があり、放送番組一般について意見交換を行なった。

Mリーグの補足説明。

- ・麻雀の全国リーグを放送しており、YouTubeとBSでも放送中。
- ・ギャブル性は全くなく、スポーツ仕立てになっており、eスポーツ枠でマージャンという位置づけで放送している。
- ・女性の方も出場し、年配の方にも人気があり、視聴回数も多い。
- ・今回、長崎県ケーブル評議会と同時に放送するというで行なっている。
- ・長崎代表は「ジャパネットたかた」のチームであり、ジャパネットたかたは地域保全や地域の活性化に取り組んでいることから、長崎県ケーブル協会として応援していこうということの指針を受けて放送している。

○Mリーグはどこで開催されているのか。

→全国で行われています。それぞれの企業に所属しており、長崎はジャパネットたかたチームが参加している

○お年寄りの健康スポーツとしてよく麻雀があるが、壱岐市ではそんなことはないのか。今はそういう形である。悪い印象もないと思うが。

→今のところは不安を感じない安全なスポーツと認識している。

○（資料内容）YouTubeの配信の許可をいただいた番組の配信とあるが、これは具体的にどういった番組を配信しているのか。

→YouTubeに配信しているものすべてで、よかところ壱岐巡り・壱岐の歴史散歩、小島神社ほかこの資料に乗せているものは、再生回数、2,000回以上、上位の回数ものを抜粋している。

→やはりYouTube配信するので、肖像権、著作権というものがあるので、許可をもらった後行なっている。

○肖像権の問題があるから、なかなか難しいところになる。ただ、これは島民だけではなくて、島外の方にも広報をするいい機会になる。

→その関連で壱岐のモンサンミッシェル「小島神社」（資料）に、参道崩落というのがある。ずっとそこまで再生回数はなかったが、今月になって急に増えている。その原因はわからないが、全国で見られているので、良い事だと壱岐の小島神社を知ってもらおう。参道が崩れそうになっていたの、この前修理をしたと思うが、配信がきっかけで、支援をいただくことが増えればいい。

○動画にリンクを張っているとかはないのか。「小島神社に行きたい人はここ」などのリンクを貼って壱岐の観光等のページに誘導しては。

→それはいいアイデアですので参考にしたい。

○ケーブルテレビの広報として、例えば今定点カメラをここに付けているとか情報の提供をしているのか？

→YouTubeなら島内・外で見られている。壱岐の次に東京の発信配信が多く、島外からの反応も多い。

○せっかくやっているのでもったいない。

→ただYouTubeを見られる方は島内の方。海の状況を見たいとよくそういう声を聞く。

○カメラが綺麗に映るのがいい。それと、他局の番組で、観光地とか有名なところを見るなら良い所と思うが、誰も知らない「この坂登れば」と言われるような、あまりパツとしないような坂の映像を見ても楽しくない。あとは、結構それぞれの楽しさがある。

○アナウンサーの方が一人おやめになった。画面から見えるしっかりされていたのを見ていたので、何か残念なところがある。

○高校野球の九州大会の現地で、当初予定していなかったものを急遽翌日に放送してくれたことが、今までにはないような取り組みだったと思う。こういう臨機応変な対応、もちろん予算もあるとは思いますが今後もぜひ、何か急に何か決まった時とかやっていただけたらすごく嬉しい。

○資料のYouTubeチャンネルの制限のところ、離島甲子園の所だけ著作権というのが入っているが、この辺の違いがどういうことなのか知りたい。

→この著作権というのは、基本YouTubeでは、映像、番組で使った楽曲などはフリー素材に置き換えて、YouTubeに投稿するようにしている。

○ということは、この音を消して流しているのか？

→現場で流したのではなく、現場で聞こえて入ってきた音をそのままアップロードしているので、今AIが判断して、著作権がある楽曲がVTRの中にありますよというお知らせとなる。

○流しても別に問題はないのか。

→収益を得ているという事ではないので、今のところは問題ない。現状は法整備ができていないので、良いかどうかというのはなかなか難しいところだが、今のところ問題はない。

○二次データみたいなものですから、曲を流しているところが支払う。

→番組で雰囲気付けに故意にその楽曲をつけているということではない。

○資料のYouTubeチャンネルに伸ばすと書いてある。目標というのはあるか。

→今の目標は長崎ケーブルメディアというのがかなりのYouTube配信の実績を上げているのでそこを目標にしている。そこが登録者数が5000を超えている。うちはまだ1600なので相当差がある。いずれナンバーワンになりたい。

○現在のYouTubeチャンネル、再生できるチャンネルは何番組か。

→今は、160程度。

○放送回数は何回ぐらいか。

→一番長いもので1ヶ月更新の番組もあり、短いもので1週間、5日という場合もある。

○最近これが良いと思ったのが、先ほどから話題になっている高校野球の件。九州大会の結果は知っているが、どんな状態だったかというのを翌日に見られた。市内は盛り上がったように思う。このまま21世紀枠に入ってくればもっと盛り上がる。

○アナウンサーが一人辞められたという話があった。今、常駐はどうなっているのか。

→常駐は今、いない。

○その辺で番組作りに支障はないのか。

→来島してもらうので、そのスケジュールに合わせて番組を作っている。

○なんか工夫しなければいけないと思う。給料面なのか、待遇なのかわからないが。

○私も一人くらい常駐にいるだろうと思っていたが、それは如何か？どの様にアナウンサーのことを考えるのか。

→確かに常駐の方が1人くらい居る方が、いろいろな番組が効率よくできるのだろうと思う。探して来てもらうというのも考えているが、来てもらっても実績で2年くらいとなる。島内の方でどなたかというのがあれば少しは違うと思うが、やはり島内の方は、そうそう顔出しでもなかなかやりたいという方がおられないと考える。

○以前は常駐の方がいて、地域の方と親しみを持つ関係が非常に強かったのを私も実感している。そういう形が難しいかもしれないが、ぜひ努力してもらいたい。

○ここでは審議委員の皆様からいろいろな意見を聞くことができるが、番組について日頃住民の方から何か意見や要望とかは出たりしているか。

→テレビ局の方にも問い合わせもあります。ここ最近では、先ほど出ました高校野球の件で、いつ放送してくれるのかなど、ご意見をいただいている。

○そういう期待を持つものには要望が強い

○外には出ているか。

→共同制作の分でちよい旅もありますし、県下10局の各テレビ局に放送してもらう番組でのやり取りもある。あとは自社で作ったものをAJC-CMSというところに上げて、各局がそこからダウンロードするというシステムがあり、そこにアップロードしている。

→ライブカメラだが、清石浜で旅行者の方が「ライブ配信を見て訪れた」方がいらっしゃる。その様な事で、観光にも役立っている。

○ライブカメラに固定の人がコメントしている。同じ人がライブカメラ見に来て3人くらいお互いに話を聞いている。見てコメントしている人は壱岐の方と思う。雰囲気的にコアなコミュニティ、そこにコメントするオープンな人はあまりいないし、そういうことが好きな人はそこで語るだろう。コアなコミュニティが出来ている。

○SNSのところでFacebook、Instagramによる情報発信があります。これはどういう役割ですか。

→SNSは番組情報。日常の気づきとか、会社からのお知らせとか、ケーブルテレビとして発信しなければならない情報などの発信に心がけている。SNSはダイレクトに伝わる場所があり、必要な情報はSNSを活用している。

(2) 壱岐市ケーブルテレビ自主放送番組についての審議

事前にDVDを配布していた今回の審議番組1番組、並びにその番組の選定理由と制作の趣旨について会場でプロジェクターを使った説明を行う

「昭和歌謡よもやま話」

制作開始は、2020年の6月

昭和の名曲をレコード音源にてご紹介をするという番組

○今日は評議員の皆さんからの感想の前に、前提として制作の意図とか、いろいろな話が聞けて、大変良かった。FMとケーブルの融合というか、これをぜひやってほしいというのがこうして実現できて、改めて嬉しい気持ちでいっぱい。

○良かった点として、レコードの音源ということでジャケットの紹介をすると、 当時が偲ばれる。それから、一番いいなと思ったのは、 ラジオとテレビのパーソナリティー同士でお互いが語り口での曲と会話が良い。ちょっとした会話がうまく生きているように感じる。

○レコードだが、今回この博物館でのDVDの内容をみただけの感想で申し訳ないが、あまりにもメジャーな曲ばかりだった。

○意見票には、番組情報として、放送日だけでなく、「何曜日、何時に放送か、番組のターゲット層や意図、ねらい。どういう想いで番組を作っているのか」の情報が欲しい。

○視聴者が求めるものをいかに提供するかというのが発信者からの責任なので、ぜひそういうものを含めて4町時代のものでも埋もれているものを出して今の市民の人に発信してほしい。

(3) その他 (事務局より)

- ・会議の日程調整は1ヶ月以上で次回から対応する。次に開催文書の裏面に意見票、それにDVDなどの資料を一緒に付け次回から発送する。

○次はいつ開催するのか

→春ごろに開催予定。

○案内文書を紙だけではなくメールでも通知可能とするが、如何か？

→私は紙がいい。 ※メール希望の場合は事務局まで連絡下さい。

○先ほどの番組の場面中に「花が必要」との話があったときに思ったのがキャラクター。ケーブルテレビのキャラクターを作ったら、イベントがあるたびに登場させることが出来る。

○最近引っ越し時のネットのことについて、説明を受けてもわかりにくい。人によって工事の料金は違うと説明を受けた。黒い元々の機械があり、ケーブルテレビが対応され、自治体からとの説明だったが、それを毎回回収する。引っ越し先にも、同じものがついている。前の人の情報が入っているから使えないと説明を受けた。どうしてそんなわかりにくいのか。

→以前はそのまま使うようにしていた。その状況だと機械の紛失も発生した。基本的には、そこに住んでおられる方が退去されるときには撤去する。D-ONUといいますが、また新しく入られたら設置する。貸与なのでD-ONUに対する料金は掛かっていない。工事のための料金となっている。

○一回一回持って帰るのか。

○市の物品であるから、引っ越すときには返さないといけない。そう決まっている。引っ越した先では、個人の物ではないから壱岐市の物品を取り付けなくてはならない。

○移動するだけ。手間ではないのか。

→やることは変わらないので手間にはならない。

○ただ、説明不足だと思う。そこは、工事部門の人がしっかりと伝える必要がある。工事部門とか受付部門とかの対応をわかりやすくしたほうがいい。

壱岐市ケーブルテレビ
放送番組審議会事務局